

〔別 紙〕

様式 1

事業報告書

(自 令和 5 年 7 月 1 日 至 令和 6 年 6 月 30 日)

1 医療法人の概要

(1) 名 称 医療法人涼真会

① ☐ 財団 ☒ 社団 (☐ 出資持分なし ☒ 出資持分あり)② ☐ 社会医療法人 ☐ 特定医療法人 ☐ 出資額限度法人
☒ その他③ ☐ 基金制度採用 ☒ 基金制度不採用

注) ①から③のそれぞれの項目 (③は社団のみ。) について、該当する欄の□を塗りつぶすこと。(会計年度内に変更があった場合は変更後。)

(2) 事務所の所在地 愛知県名古屋市中千種区茶屋が坂二丁目 5 番 2 号

注) 複数の事務所を有する場合は、主たる事務所と従たる事務所を記載すること。

(3) 設立認可年月日 平成 12 年 12 月 5 日

(4) 設立登記年月日 平成 12 年 12 月 12 日

(5) 役員及び評議員

省略

2 事業の概要

(1) 本来業務 (開設する病院、診療所又は介護老人保健施設 (医療法第 4 2 条の指定管理者として管理する病院等を含む。) の業務)

種 類	施設の名称	施設の医療機関コード(注 4) 又は介護事業番号	開 設 場 所	許可病床数
診療所	茶屋ヶ坂眼科クリニック	2310104076	愛知県名古屋市中千種区茶屋が坂二丁目 5 番 2 号	一般病床 0 床

注) 1. 地方自治法第 2 4 4 条の 2 第 3 項に規定する指定管理者として管理する施設については、その旨を施設の名称の下に【 】書で記載すること。

2. 療養病床に介護保険適用病床がある場合は、医療保険適用病床と介護保険適用病床のそれぞれについて内訳を[]書で記載すること。

3. 介護老人保健施設の許可病床数の欄は、入所定員及び通所定員を記載すること。

4. 医療機関コード: 保険医療機関として指定された病院等に付される番号です。

診療報酬請求に使用する医療機関番号 (7 桁) の前に、医科の場合「2 3 1」、歯科の場合「2 3 3」を追加し、1 0 桁で記載すること。

医療機関番号 (7 桁) は、東海北陸厚生局のホームページで確認ができます。

https://kouseikyoku.mhlw.go.jp/tokaihokuriku/newpage_00287.html

(2) 附帯業務（医療法人が行う医療法第42条各号に掲げる業務）

種類又は事業名	実施場所	備考
該当なし		

注）地方公共団体から委託を受けて管理する施設については、その旨を施設の名称の下に【 】書で記載すること。

(3) 収益業務（社会医療法人又は医療法第42条の3第1項の認定を受けた医療法人が行うことができる業務）

種類	実施場所	備考
該当なし		

(4) 当該会計年度内に社員総会又は評議員会で議決又は同意した事項

令和5年7月12日 監事1名辞任、新監事1名就任の承認
 令和5年8月29日 令和5年6月期決算の決定承認
 令和6年6月20日 令和7年6月期の事業計画及び収支予算の決定

注）(5)、(6)については、医療機関債を発行又は購入する医療法人が記載し、(7)以下については、病院又は介護老人保健施設を開設する医療法人が記載し、診療所のみを開設する医療法人は記載しなくても差し支えないこと。

(5) 当該会計年度内に発行した医療機関債

該当なし

(6) 当該会計年度内に購入した医療機関債

該当なし

(7) 当該会計年度内に開設（許可を含む）した主要な施設

該当なし

(8) 当該会計年度内に他の法律、通知等において指定された内容

該当なし

(9) その他

該当なし

注）当該会計年度内に行われた工事、医療機器の購入又はリース契約、診療科の新設又は廃止等を記載する。（任意）

[決算様式3-2]

法人名 医療法人 涼真会
所在地 名古屋市千種区茶屋が坂二丁目5番2号

※医療法人整理番号 1819
(※ 上記は記載する必要なし)

貸 借 対 照 表
(令和 6 年 6 月 30 日現在)

(単位：千円)

資 産 の 部		負 債 の 部	
科 目	金 額	科 目	金 額
I 流 動 資 産	403,822	I 流 動 負 債	21,353
II 固 定 資 産	76,361	II 固 定 負 債	0
1 有 形 固 定 資 産	42,613	負 債 合 計	21,353
2 無 形 固 定 資 産	153	純 資 産 の 部	
3 そ の 他 の 資 産	33,595	科 目	金 額
		I 出 資 金	10,000
		II 積 立 金	448,830
		III 評 価 ・ 換 算 差 額 等	
		純 資 産 合 計	458,830
資 産 合 計	480,183	負債・純資産合計	480,183

[決算様式4-2]

法人名 医療法人 涼真会
所在地 名古屋市千種区茶屋が坂二丁目5番2号

※医療法人整理番号 118119
(※ 上記は記載する必要なし)

損 益 計 算 書
(自 令和 5 年 7 月 1 日 至 令和 6 年 6 月 30 日)

(単位：千円)

科 目	金 額
I 事業損益	
A 本来業務事業損益	
1 事業収益	242,938
2 事業費用	232,819
本来業務事業利益	10,119
B 附帯業務事業損益	
1 事業収益	0
2 事業費用	0
附帯業務事業利益	0
事業利益	10,119
II 事業外収益	942
III 事業外費用	14
経常利益	11,047
IV 特別利益	96
V 特別損失	0
税引前当期純利益	11,143
法人税等	2,348
当期純利益	8,795

(注) 1. 利益がマイナスとなる場合には、「利益」を「損失」と表示すること。
2. 表中の科目について、不要な科目は削除しても差し支えないこと。

〔決算様式2〕

法人名 医療法人 涼真会

所在地 名古屋市千種区茶屋が坂二丁目5番2号

※医療法人整理番号

11811

(※ 上記は記載する必要なし)

財 産 目 録
(令和 6 年 6 月 30 日現在)

1. 資 産 額	480,183 千円
2. 負 債 額	21,353 千円
3. 純 資 産 額	458,830 千円

(内 訳)

(単位：千円)

区 分	金 額
A 流 動 資 産	403,822
B 固 定 資 産	76,361
C 資 産 合 計 (A + B)	480,183
D 負 債 合 計	21,353
E 純 資 産 (C - D)	458,830

(注) 財産目録の価額は、貸借対照表の価額と一致すること。

土地及び建物について、該当する欄の□を塗りつぶすこと。

土 地 (□ 法人所有 ■ 賃借 □ 部分的に法人所有(部分的に賃借))

建 物 (□ 法人所有 ■ 賃借 □ 部分的に法人所有(部分的に賃借))

法人名	医療法人 涼真会
所在地	名古屋市千種区茶屋が坂二丁目5番2号

※医療法人整理番号					
-----------	--	--	--	--	--

関係事業者との取引の状況に関する報告書

(1) 法人である関係事業者

種類	名称	所在地	総資産額 (千円)	事業の内容	関係事業者 との関係	取引の内容	取引金額 (千円)	科目	期末残高 (千円)
役員が代表者である 法人	アイディ・イカルピス(有) (注) 1	名古屋市北区	360,599	不動産賃貸業	不動産の賃借	賃借料の支払い (注) 2 保証金の差入 (注) 3	32,524 -	- 差入保証金	- 20,700

(取引条件及び取引条件の決定方針等)

(注) 1. 当法人理事古田洋子が取締役社長である法人。

(注) 2. 不動産の賃借料は近隣相場を参考に決定している。支払条件は当月分当月末振込みとしている。

(注) 3. 不動産の差入保証金は近隣相場を参考に決定している。無利息で解約時全額返済としている。

〔決算様式 6〕

監 事 監 査 報 告 書

医療法人涼真会

理事長 古田寿男 殿

私は、医療法人涼真会の令和 5 年会計年度（令和 5 年 7 月 1 日から令和 6 年 6 月 30 日まで）の業務及び財産の状況等について監査を行いました。その結果につき、以下のとおり報告いたします。

監査の方法の概要

私は、理事会その他重要な会議に出席するほか、理事等からその職務の執行状況を聴取し、重要な決裁書類等を閲覧し、本部及び主要な施設において業務及び財産の状況を調査し、事業報告を求めました。また、事業報告書並びに会計帳簿等の調査を行い、計算書類、すなわち財産目録、貸借対照表、損益計算書及び関係事業者との取引の状況に関する報告書の監査を実施しました。

記

監査結果

- (1) 事業報告書は、法令及び定款（寄附行為）に従い、法人の状況を正しく示しているものと認めます。
- (2) 会計帳簿は、記載すべき事項を正しく記載し、上記の計算書類の記載と合致しているものと認めます。
- (3) 計算書類は、法令及び定款（寄附行為）に従い、損益及び財産の状況を正しく示しているものと認めます。
- (4) 理事の職務執行に関する不正の行為又は法令若しくは定款（寄附行為）に違反する重大な事実は認められません。

令和 6 年 8 月 19 日

医療法人涼真会

監事 矢田部 純

（注 1）監査人が複数の場合には、「私たち」とする。

（注 2）関係事業者との取引がある医療法人については、「財産目録、貸借対照表、損益計算書及び関係事業者との取引の状況に関する報告書」とし、社会医療法人債を発行する医療法人については、「財産目録、貸借対照表、損益計算書、純資産変動計算書、キャッシュ・フロー計算書及び附属明細表」とする。